



いのちを笑わそう
Ichi o Warawase Sou

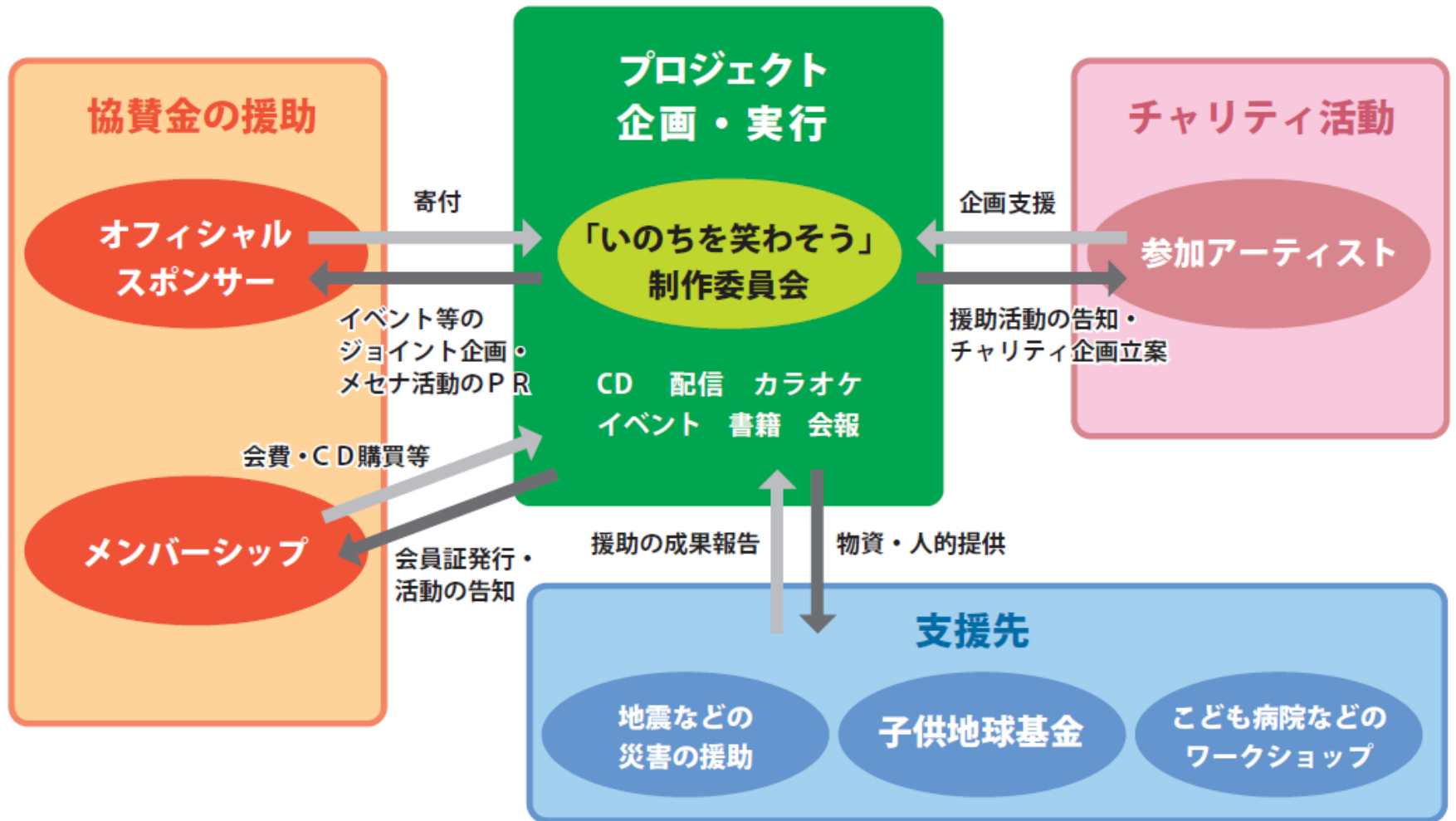
書: 松本一起

お笑い芸人によるチャリティ 歌のメッセージ



いのちを笑わそう制作プロデュース委員会

「いのちを笑わそう」プロジェクトについて



参加アーティスト



亀ひろし



マコト



ノンスモーキー石井



トリオ THE トリオ



シグナルズ



大里ヨシユキと安全+第一



みはる



石倉三郎



昭和のいる・こいる



青空球児・好児



ピース



アントキの猪木



松本えいじ



テツ and トモ



ノブ&フッキー



コージ・富田



西尾夕紀



パッション屋良



ひかり



コント山口くんと竹田くん



ノブ&フッキー



コージ・富田



葉月パル



ふじいあきら



あっち幾三



マギー司郎



ポカスカジャン



コロケ



おぼん・こぼん



島田洋八



飯山栄子



ライラックス



ぺよん澗



ゆうぞう



ゆうぞう



影武者 X



ダブルネーム

いのちを笑わそう

作詞: 松本一起 作曲: 浅野勝盛

大空の青からは朝の色をもらい
 ときとしてその色は涙にもなったり
 大地から芽生えた緑で心を休め
 そして太陽の赤で愛を深める

すべてはこの世界から生まれて
 この地球を守るのに
 人も花も明日も愛もつづして
 歌い踊ってた街を流し
 ときに自然は地図になかった罪を作る

いのちを笑わそう
 言葉や時間が違っても
 笑顔や優しさは変わらないはず
 いのちよ笑いだせ
 どんなに寂しい人だって
 僕らの笑いで誰か思い出してよ

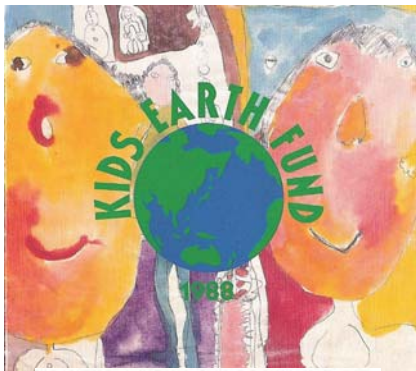
ねえまだ諦めないでさがして
 ひとしずくの雨水で
 枯れてしまう心に風が語るよ
 どんな地の底も針の山も
 人の願いの心があれば伝わるから

いのちを笑わそう
 一人が一人を救い出せ
 両手で抱きしめて呼吸をつなごう
 いのちよ笑いだせ
 どんなに寂しい人だって
 僕らの笑いで誰か思い出してよ

いのちを笑わそう
 いのちを笑わそう
 いのちを笑わそう
 いのちを笑わそう
 そして
 そして
 何かを分け合おう
 何かを分け合おう
 * Repeat

松本一起 代表作

鈴木雅之「ガラス越しに消えた夏」
 矢沢永吉「夢の彼方」
 池田聡「モノクローム・ヴィーナス」 「KISS」
 中森明菜「ジブシー・クイーン」 「FIN」
 田原俊彦「It's BAD」
 Class「夏の日の1993」 「百万本の雨」
 沢田研二「Chance」
 吉川晃司「Innocent Sky」
 鈴木聖美「ファンタジー」
 早見優「急いで！初恋」
 麗美「fa·ri·ra」
 田中裕子「チャイナ・ドール」
 上田正樹「Go West」
 村田和人「Morning Selection」
 オフコース「Tiny Pretty Girl」
 ZIGZAG「夏を忘れたジー・サイド」
 Ribbon「サイレント・サマー」
 稲垣潤一「君に言い尽くせないまま」
 中篠かな子「天使の罿」
 南こうせつ「ありがとう」
 少年隊「誘われてEx」
 ZOO「GIVEN」
 TOSHI「Heart of the back」
 小野正利「ビュアになれ」 「Forever My Love」
 「もっと美しくなれ」
 大橋純子「結婚」 「Rain」
 佐藤隆「黒い瞳 / アモーレミオ」
 SkoopOn Somebody「今、僕はここにいる」
 石嶺聡子「土曜日とペンと時計」
 Be-B「Angel Anniversary」
 LittleBach「眠れぬ美女」
 衛藤理恵「sometime something」
 小橋賢児「Knock King on the Door」
 ほか3,000 曲



チャリティ先として、「いのちを笑わそう」制作委員会が指定した団体と会員によって推薦された個人を考えています。

指定団体

「いのちを笑わそう」プロジェクトの趣旨に合致し、思想的偏りがなく、資金運用の透明性が確保された非営利団体（一般社団法人・NPO 等）や公共性を持った機関。制作委員会によって適宜認可されます。

○子供地球基金 / KIDS EARTH FUND

子供地球基金は、1988年の創立以来戦争や災害等で心にトラウマを抱える子どもたちと40カ国以上で絵を描くワークショップを行っている。同時に画材や絵本、医療品等の寄贈活動も続け、物心両面からの支援活動を進めている。アートワークショップで描かれた子どもたちの絵や世界中の子どもたちから寄せられる絵はTシャツやカレンダー等のデザインとなり、その収益が世界の子どもたちのための基金となる、“KIDS HELPING KIDS(子どもたちが子どもたちを救う)”活動を展開。また、子どもたちの絵は各国で高い評価を受け、フランス・ポンピドーセンターやロシア・プーシキンミュージアム等世界3000箇所以上で絵画展が開かれている。

<http://www.kidsearthfund.jp>

さらに子どもたちの命とその未来を考えて、重度の病気の子どもたちに対応している、全国有数の専門機関、静岡県立子ども病院へのチャリティイベント等も視野に入れていきます。

「静岡県立こども病院」

診断・治療の困難な小児患者を紹介予約制で受け入れ、高度専門医療を提供する子ども専用の特別病院。子どもたちのために有志のボランティア活動も積極的に受け入れている。

〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山860

サイト：<http://www.shizuoka-pho.jp/kodomo/index.html>



協賛について



皆さまのご支援・ご協力を受けることで、「笑顔の輪」が日本・世界へと繋がっていきます。協賛には「メンバーシップ」と「オフィシャルスポンサー」の2種類があります。

いのわらメンバーシップ

本プロジェクトの応援団として、ご参加ください。

【年会費】 個人／一口5,000 円 団体／一口50,000 円

[特典]

- ・会員証の発行 ・CD・グッズ等の割引 ・会報
- ・本プロジェクトに関するフライヤーなどへの氏名・団体名の明示(文字のみ)
- ・いのわらオフィシャルイベント等の優待券(随時予定)
- ・参加アーティストのイベントの優待券(随時予定)

いのわらオフィシャルスポンサー

本プロジェクトの中核となる協賛スポンサーとして、各種イベントにタイアップをお願いいたします。

* オフィシャルスポンサーに関しましては、1業種1社とさせていただきます。

【登録から一年間有効】

プラチナスポンサー (P) ★2,000,000 円

ゴールドスポンサー (G) ★1,000,000 円

サポートスポンサー (S) ★いのわらプロジェクトの活動を支えてくれる物資のご提供
(例:フライヤーの印刷・イベント会場のご提供・グッズの制作)

[特典] ()内は特典のつくスポンサーの種類

- ・メンバーシップの特典全て(P・G・S)
- ・記者会見・イベント等で使われる背景のボードへのロゴの掲示(P・G・S)
- ・チラシ等のフライヤーへのロゴの掲示(P・G・S)
- ・パブリシティ[ラジオ・テレビ・新聞・雑誌・書籍等]の告知における明示(P・G・S)
- ・いのわらオフィシャルサイトへの広告(P・G・S)
- ・イベント会場におけるサンプリング権(P・G)
- ・参加アーティストの肖像使用权(P・G)
- ・参加アーティストとのコラボレーション企画(P)

注1)ロゴ・広告の掲示の大きさなどは、種別によって違いがあります。

注2)パブリシティの告知に関しては媒体により、制限が生じることがあります。

注3)参加アーティストとの企画に関しては、事務所サイドの審査があります。



記者会見・イベント等背景のボードイメージ



企画意図

エイズや結核、マラリアによって世界では毎年数百万人が命を落としています。これは治療可能な病気であるにも拘わらず、医療制度の未整備や治療費の高さのために必要な治療を受けられない人びとが数多く存在します。一方、アフリカ睡眠病やカラアザールなど致死性であっても一部の地域にしか見られない風土病は「顧みられない病気」とも呼ばれ、有効な治療を受けられる患者の数は、ごくわずかに限られています。コレラやはしかなどの伝染病は、難民キャンプや都市のスラム地区など、清潔な水やトイレが整備されていない過密な環境で広まりやすいのです。発生が確認された場合、大量の死を防ぐために迅速で大規模な流行抑止対策が必要とされます。世界中で、子供たちへの感染症を防ぐための予防接種は必要とされているのです。

いのちの大切さを 笑顔をもたらすことで訴える

また、ウイルスがどこにでも動くことのできる現在、感染症が流行する可能性は拡大し、予防接種は、病気にならないための医療として、重要度がますます高くなってきています。2005年の世界子供白書によれば、年間に世界で生まれてくる子どもたちは、およそ1億3,344万人といわれています。そして、国連児童基金(UNICEF)の報告では、年間約3,000万人の子どもたちが十分に予防接種を受けられずにいると言われています。

そこで、いつもお茶の間に笑いで皆さんを幸せにしているお笑い芸人の方たちに協力していただき、今度は『世界の子供たちのいのちを笑わそう』と、いうのが今回の目的です！病気や戦争、災害などで心に傷を負った世界中の子どもたちへ食料や衣料、画材、絵本、医療品などを送りたいと思います。そして、子どもたちには、物やお金だけでなく、ぬくもりや希望を届けたいと思っています。心の傷ついた子どもたちが少しでも笑顔を見せてくれればと思っています。

企画案

かつて「明日があるさ」という歌がヒットしました。今日が駄目なら次に望みを繋ごう、という気持ちのあらわれだと感じました。しかし今はどうでしょうか？本当に明日という日があるだろうか？とさえ思ってしまうほど政治も経済も渾沌としています。

更に国外各地における天変地異による多大な被害です。毎日、毎日テレビのニュースに悲劇が映し出されます。何とか1人でも救い出せないか、と私たちは考え悩みました。

お笑い芸人が牽引する チャリティ・プロジェクト

そこで、到達したものが世界人共通の感情でそれこそ「お笑い」だったのです。日本は今まさに「お笑い」ブームの真っただ中です。世界中のすべての人に共通する人間としての感情、「お笑い」で地球よりも重い「命」の尊さを訴え、「命」を笑わせてあげたい。家もお金も明日も、人によっては親や兄弟も失ってしまった人々に、「あなたの命を笑わせてあげたい」と歌い、その一部を何か寄付として届けられればと願うのです。

お笑い芸人が牽引車になりましょう。いつもテレビでしか逢っていないお笑い芸人がいつも笑っていただいている恩返しとして「命の大切さ」「命のエネルギー」を一生懸命に歌い訴えます。

地震で、住む場所も食べるものも失い、空に手を差し伸べている子どもたちの姿に、心を動かされた作詞家松本一起が、歌によって、彼らに力を与えられないかと、信頼できるメンバーと共にプロジェクトを立ち上げました。中核となったのは、作曲を担当した浅野勝盛とその趣旨に感銘を受けたノブ&フッキー、コーギー富田。お笑い芸人たちが、素直な心で直接、歌にその魂を吹き込む、その真摯な姿が輪を広げ、世代を超えた52人のタレントによる日本版「We Are The World」ーチャリティ・ソング『いのちを笑わそう』が完成したのです。

まずは、CD や音楽配信などを通して、この活動を世に訴えます。既に業務用通信カラオケでは業界最大手の第一興商との提携(音楽出版)が予定されています。参加タレントも、このプロジェクトの趣旨を鑑み、個々で精力的に営業宣伝することを約束してくれています。また、イベント等を多数開催していくことで、タレントと関わった人間の「笑顔」ショットを増やし、その数をカウントしていき、「目標〇〇〇枚」等をうたって、「笑顔」写真を残していきます。芸人さんが関わっている利点を活かして、「絵」になるものを増やしていくことを考えています。単なる一過性の企画ではなく、何年も、何十年も続けられるような地道な活動と協賛を展開します。チャリティというのは、その場限りのもので終わってしまうことが多いのですが、会員となった人々(参加タレント・制作委員会・協賛会社・協賛者)が、輪となって紡ぎあう活動を続け、書籍やHP などで記録を残し、会員として誇りを持ってもらうことで、世のチャリティの見本となるよう努力します。



全員参加、笑顔をもたらす「本当のチャリティ」を追求します。キーワードは「笑顔のプレゼント」。『いのちを笑わそう』は、単なるチャリティ・ソングではなく、参加したタレント、協賛された人・団体、これに関わる全ての人に笑顔をもたらす、全員参加型のプロジェクトです。この企画に関わる皆が皆、このプロジェクトの会員(会員証発行)となって、日本、世界に輪を広げていきます。

制作委員会は、音楽、イベント、芸能、出版、デザインなど、様々な業界の会社が参画しており、連携を保ちつつ、それぞれの持ち味を活かしたパブリシティを考えています。CD・配信はもちろん、チャリティイベントの開催や書籍の出版、ブログ・ツイッターなどを駆使したデジタル上の宣伝活動など、幅広い展開を見込んでいます。

タイトル:『いのちを笑わそう』(仮題)

判型:四六判・並製

ページ数:128 頁

価格:1000 円+税

発行・発売:長崎出版 (制作プロデュース委員会)

○ 趣 旨

日本、世界の人たちに笑顔をもたすことを旗印に、お笑い芸人たちが結集したチャリティ・ソング「いのちを笑わそう」CD制作に合わせて、プロジェクトに関わった人たちの思いを、書籍として綴る。

普段、テレビや舞台だけでは見ることの出来ない、タレントたちの素顔を、今回のプロジェクトに参加した志と共に、表出させる。

また、プロジェクトの裏方として制作に携わった人々や協力者も登場させ、単なる読み物ではなく、運動体としてのツールとなる内容とする。

そして、お笑い芸人のファンはもちろん、世の中を少しでも明るくしたいと思っている人たちに向けて啓発する。

○ 内 容

第1章 プロジェクトの設立まで(写真を使ってイメージ重視)

第2章 プロジェクト参加タレントの言葉(写真+メッセージor 短文)

第3章 関係者たちのインタビュー

第4章 チャリティーソング概要

第5章 チャリティーの成果

第3章では、協賛をしていただいた企業や個人の方のインタビューを予定しており、関係者の一体感を強調できる内容とする。